

テーマ 14	位置情報やオープンデータ等を活用した「周遊観光」の促進（袋井市）
--------	----------------------------------

1. 解決したい課題の内容

- ・袋井市には年間 480 万人の観光客が訪れる。
- ・観光の動機は、遠州三山という名刹・古刹への初詣や参拝のほか、大規模競技場「エコパスタジアム（エコパアリーナ）」で開催されるスポーツイベントやミュージシャンのライブイベントであることが、過去のアンケート結果から判明している。
- ・立ち寄る場所が 1～2ヶ所程度の観光客が多く、市内での買い物や食事等につながっていないことが課題だが、その理由として、市内観光施設や食事処が点在しており、観光客が観光プランを設定するのが困難であることが考えられる。

2. 実現したい目標について

市内観光地を訪れた観光客を対象に、現在地や滞在可能時間を考慮した観光プランを提案することなどを行い、市内を中心とした周遊を促進することで、観光交流客数と旅行消費額の向上を図りたい。

3. 必要とする技術について

以下を想定するが、これにこだわらない。

- ・位置情報や観光名所などのデータを取得し集約する技術
- ・AI 等を用いて、性別や年齢など属性に応じたプランを提供する技術
- ・上記技術を搭載したアプリケーション等の開発技術

4. 想定する実証実験（内容・希望時期等）について

※実証内容は以下を想定するが、これにこだわらない。

- ・土日やお盆休み、年末年始などの長期休暇時に、市内観光施設を実証フィールドとして、提案技術を搭載したアプリケーション等を施設来訪者等を実証的に使用してもらい、使いやすさや効果を検証する

5. 課題に関連する事業のホームページ URL

- ・袋井市「袋井市観光基本計画」

https://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/soshiki/syougyou/1/keikaku_hokoku/11057.html